



貴船だより

令和2年11月2日発行 第8号
大田区立大森第一小学校
校長 尾上 健二

—健康で安全な生活ができる子—おもいやりがりあり仲よく助け合う子—自ら考え行動する子—

学校 HP もご覧ください。 <http://academic2.plala.or.jp/omr1-e/>

2学期折り返し

副校長 小林 和弥

2学期も折り返しを過ぎました。この2ヶ月半を振り返ると例年と異なる様々なことがありました。短い夏休み、地域行事・水泳指導等の中止・・・10月になり学校行事では体育学習発表会を実施することができました。たくさんの保護者の皆様にご声援をいただき盛況だったこと、改めてお礼申し上げます。青山PTA会長には、最も関心が高いため密になりやすい短距離走ゴール付近の警備に対応頂きました。PTA 役員の皆様にも例年とは全く違う体制でのご協力に感謝申し上げます。その他の学校生活も少しずつ元に戻ってきています。例えば、朝の児童集会が再開してきました。一校一取組として本校では、クラス毎に長縄での八の字跳びを実施してきました。例年なら、全校児童が一斉に跳んでいましたが、今年度は低中高学年に分かれて三日間実施しました。毎日の清掃活動も簡単清掃から通常清掃に戻ってきています。10月22日には、2年生が、生活科校外学習で、ふるさと浜辺公園に学習に行きました。

今年度も、校内研究内容はESD教育（持続可能な開発のための教育）です。総合的な学習、生活科を中心に取り組んできました。この教育の意義は、未来を生きる子供たちが、地球が抱える課題（環境問題、国際問題、社会問題、心の問題、学力の問題）を解決していくための力を身に付けることです。「持続可能な社会の担い手を育むこと」は学習指導要領にも記されています。9月より外部講師を招いての研究授業も再開されました。9月15日は、4年2組時里学級 社会「自然災害からくらしを守る」10月15日は、6年2組塩崎学級 総合的な学習の時間「未来をつくる私たち」の研究授業に取り組みました。講師には、目白大学 石田 好広 教授、全国小中学校環境教育研究会元会長 末吉 潤一 様に、ご指導いただきました。1年生から6年生まで、子供たちは地域にある自然、伝統、環境、まちづくりなどの学習素材を活用して、学年の発達段階に応じた学習に取り組めます。2月の研究発表は、動画配信による発表になる予定です。

11月13日（金）14日（土）に予定されている学校公開は例年通りに実施すると、かなりの密状態になるため、体育学習発表会同様、分散での参観となります。児童の安全を第一に計画していきたいと思えます。ご理解ご協力の程、よろしくお願ひします。



11月
目標

生活目標「気持ちよく過ごそう」
保健目標「衣服の調節をしましょう」
給食目標「食事のマナーを身につけよう」

日	曜日	11月行事予定 ()数字は学年	放課後遊び
1	日		
2	月	生命尊重週間 全校朝会 委員会活動(4年代表委・5・6)	
3	火	文化の日	
4	水		
5	木	避難訓練(火災:消火器)	○
6	金	安全指導 自転車教室(3)	○
7	土	東京都教育の日	
8	日		
9	月	↓ あいさつキャンペーン 全校朝会	
10	火	補習教室	○
11	水	研究授業(3-1) 特別時程 4時間(全) 3-1のみ5時間	
12	木	就学時健康診断 特別時程 4時間(全)	
13	金	学区公開1日目 衛生検査 セーフティ教室 情報モラル講習会	
14	土	↓ 学校公開2日目 土曜補習	
15	日		
16	月	全校朝会 クラブ活動(4~6)	
17	火	一校一取組(低) ランニングタイム(2・4) 補習教室	
18	水	一校一取組(中) ランニングタイム(1・6) 研究授業(2-3) 特別時程 4時間(全) 2-3のみ5時間	
19	木	一校一取組(高) ランニングタイム(3・5)	
20	金	記名タイム	
21	土		
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火		
25	水	児童集会 特別時程 4時間(全)	
26	木	研究授業(5-1) 特別時程 4時間(全) 5-1のみ5時間	
27	金		
28	土		
29	日		
30	月	全校朝会 委員会活動(4年代表委・5・6)	

自他の命を大切にする子に～生命尊重

生命尊重教育担当 大崎和彦

今年は、春から続くコロナ禍や、台風をはじめとする数多くの自然災害や事故による被害が伝えられ、改めて命の大切さを考えさせられる1年となりました。

学校でも11月初めの生命尊重週間には、学年の発達段階に応じて命の尊さについて話し合い、今生きている自分、自分を取り巻く全ての命に関心をもち、これからの生き方を考えられるような場を設けていきます。そして、「いのちはひとつ」だということを改めて子供たちに訴え、命の尊さを見つめ直す機会としていきます。